

と續手のオヂラ
方み選の機信受

工 學 士
著 寬 宮 新

東 京
版 社 = 文 京

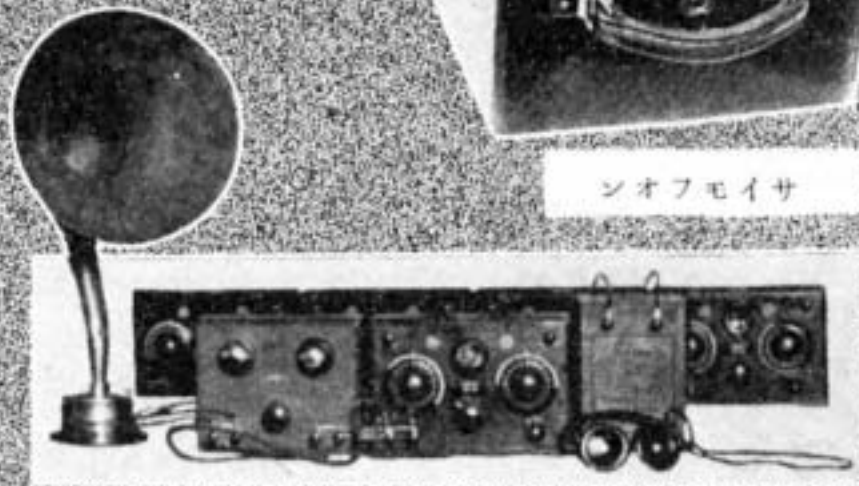
(一) まがまさ機信受



號一十三式AK



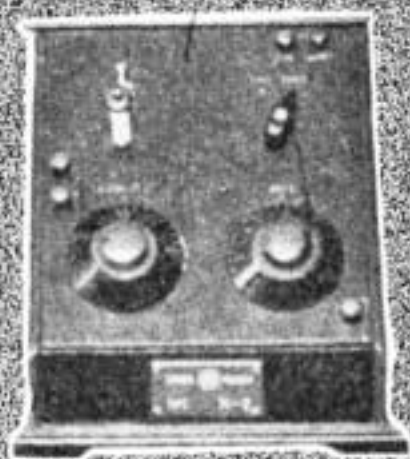
ソオブモイサ



號七十三RA號六十三RA

(二) まざまさ機信受

型 2 M



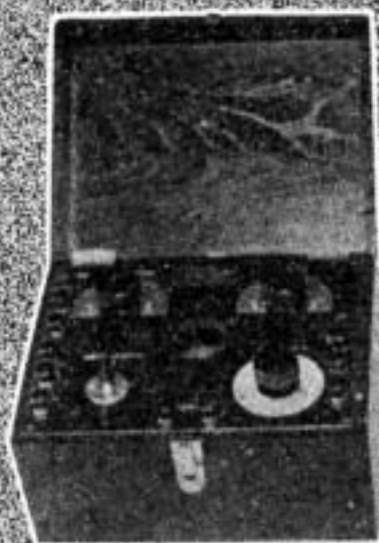
A 號一式 EN



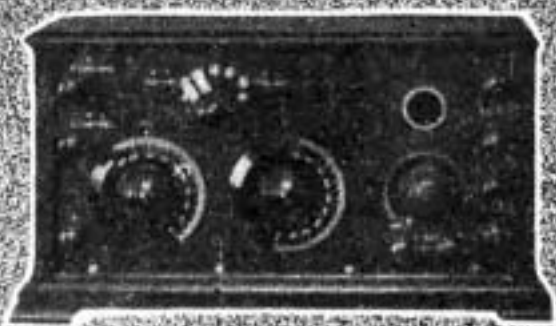
號一Aルサーアツニユ



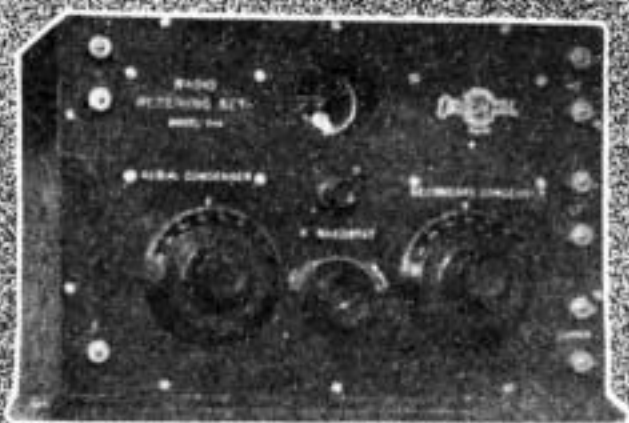
號二ソホムト



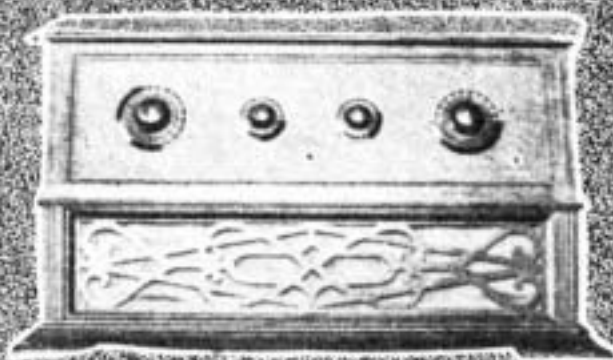
(三) まざまさ機信受



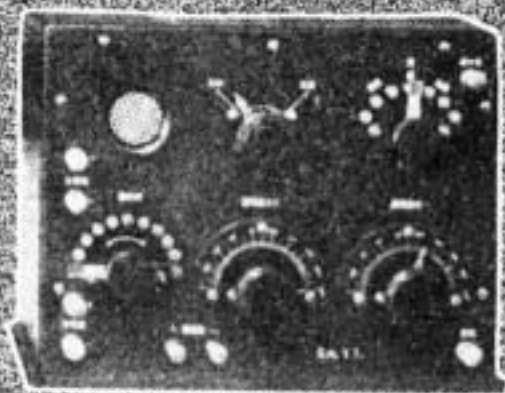
磯野式B一號



十二號A型



號一ルンドコ



O H 號

(四) まざまさ機信受



號一Aラノユウ



號一RH



器大鐵型2L



型2V

略

第二章 型式合格受信機一覽表

今日まで型式試験を合格した受信機でその製造者及大體の價格を便宜の爲め一覽表とした者を掲載すると次の様になるのである。型式試験合格機には何れも一覽表に示す通りの型式證明番號が前述の様な遞信省の「ニ」といふ記號の周圍に書いてあるマークを打つことになつてゐるので、ラヂオ店の店頭に立つても直ぐ區別がつくのである。

型式合格受信機一覽表

型式證明番號	品名	製造者	價格	内容
3	A R 27	安中電機製作所	六〇圓	真空管檢波式

第二章 型式受信機一覽表

16	15	10	9 ● 2	9	8	7	5	4
日本無線式V2	日本無線式M2	NE式一號A	サイモフオン A2	サイモフオンA	B 10	K A 式 31	沖式2號	A R 38
日本無線電信電話株式會社	日本無線電信電話株式會社	日本電氣株式會社	東京電氣株式會社	東京電氣株式會社	河喜多研究所	大阪無線電機製作所	沖電氣株式會社	安中電機製作所
五五	四五	五〇	九〇	九〇	八〇	六〇	七〇	六〇 ^圓
真空管檢波式	真空管檢波式	真空管檢波式	真空管檢波及低周波增幅一段	真空管檢波及低周波增幅一段	真空管檢波式	真空管檢波式	真空管檢波式	真空管檢波式

43	40	39	38	34	33	27	25	24
沖式 2 號	H R 1 號	ジュノラ A 1 號	O H 11 號	コンドル一號	24 號 A 型	磯野 B 1 號	トムフォン 2 號	ユニバーサル A 1 號
沖電氣株式會社	汎電社	芝浦製作所	大星會	坂本製作所	東邦無線電機製作所	日本光機株式會社	東京無線電機株式會社	ラヂオ電氣會
一三五	五五		六五	二〇〇	八〇	六五	五五	五五 ^圓
真空管檢波、低周波増幅二段	磁石檢波式	真空管檢波式	真空管檢波式	高周波増幅一段、真空管檢波、低周波増幅二段、屋外空中線又は棒型空中線を用ひ得	真空管檢波式	真空管檢波式	真空管檢波式	真空管檢波式

49	45
K A 式 51 號	C 15 型
大阪無線電機製作所	河喜多研究所
一三五	一三〇
真空管檢波・低周波増幅二段	真空管檢波、低周波増幅一段

第三章 外國製受信機の話

上に述べたやうな譯で、只今の放送規則では、外國製受信機を使用してもよろしいことになつてゐる。大正十四年三月の規則改正以來、その以前に於ては使用を許されなかつた外國受信機が、急に使用を許されることになつたので輸入商はそれ以來、勢を得て海外より日本へ到來する各種受信機は急に増えて來た。

日本では資本の點やら、技術の點で、未だ惜しいことに良い受信機を、一般の需要に應じ得る程、多量に生産するに至らないので、此等の點に一步を超えてゐる受

略

大正十四年六月五日印刷
大正十四年六月一日發行



著作者檢印

著者

新宮

寛

發行者

鈴木

茂

印刷者

生田

次

東京市本郷區元町一丁目三番地

東京市牛込區早稻田鶴卷町三十番地

發行所

東京市本郷區元町一丁目三番地

株式會社

京文社

電話小石川五九八六番
報替東京八二二六番

ラヂオの手續と
受信機の選み方

定價金九十錢